

# 法学部法律学科 カリキュラム・ツリー

【DP1】

わが国の法制度は日本国憲法を中心とした様々な法規範によって構成されているが、それらに基づいた法治国としての仕組みを理解している。

【DP2】

法的判断をするための基礎となる法律の条文や規則などを正確に読解できる。

DP4

DP3

【到達目標】(A)

さまざまな学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得する。

DP4

DP3

【到達目標】(B)

一般的・普遍的な教養を育成する。

DP1

DP2

【到達目標】(C)

法学・政治学を学ぶ意欲を涵養し、基礎的な知識やスキル、法的・政治学的思考力を修得する。

DP1

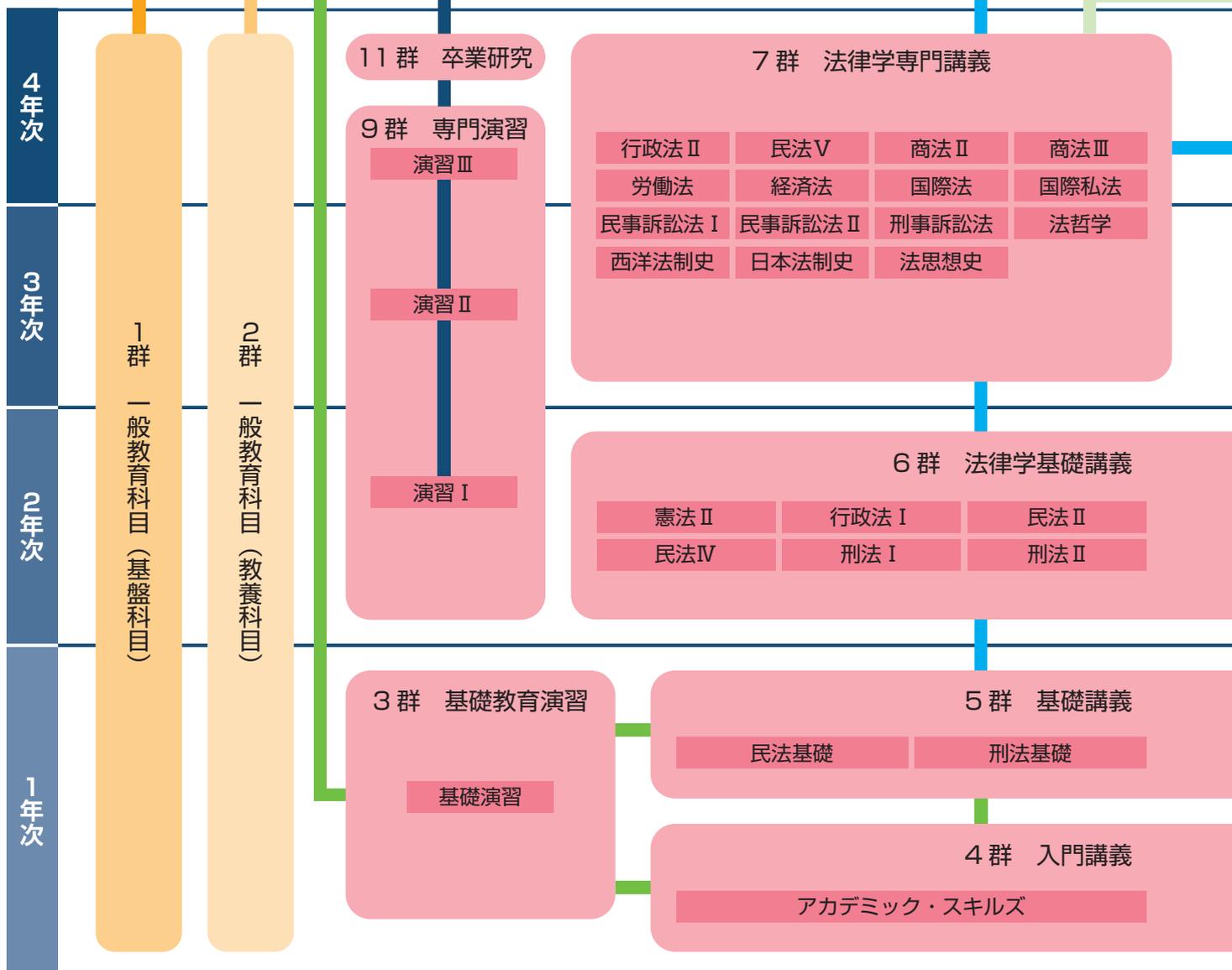
【到達目標】(D)

日本国憲法および制定法の概要と、これらの背後に存在する価値原理や基本原則を理解する。

DP1

【到達目標】(E)

法を運用する機関の役割と、その権限行使の際の手続の概要を理解する。



資料  
2020年度入学生適用

**[DP3]**

価値観の異なる様々な見解を分析し、自らが選択した法的判断の妥当性を第三者に対して論理的に説明できる。

**[DP4]**

グローバル化した社会における法的問題を解決するために必要な知識—他国の文化・国民性・歴史など—を身につけている。

**DP2**

**【到達目標】(F)**

社会の諸問題を発見し、法学に関連する情報を収集し、それらを正確に読解・理解する能力を養う。

**DP3**

**【到達目標】(G)**

価値観の多様性を理解し、他者の人権を尊重しつつ、異なる意見を多角的な視点から分析、調整し、解決策を提示する能力を養う。

**DP3**

**【到達目標】(H)**

対立する意見の調整過程を他者に対し論理的かつ説得的に説明できる能力を養う。

**DP3**

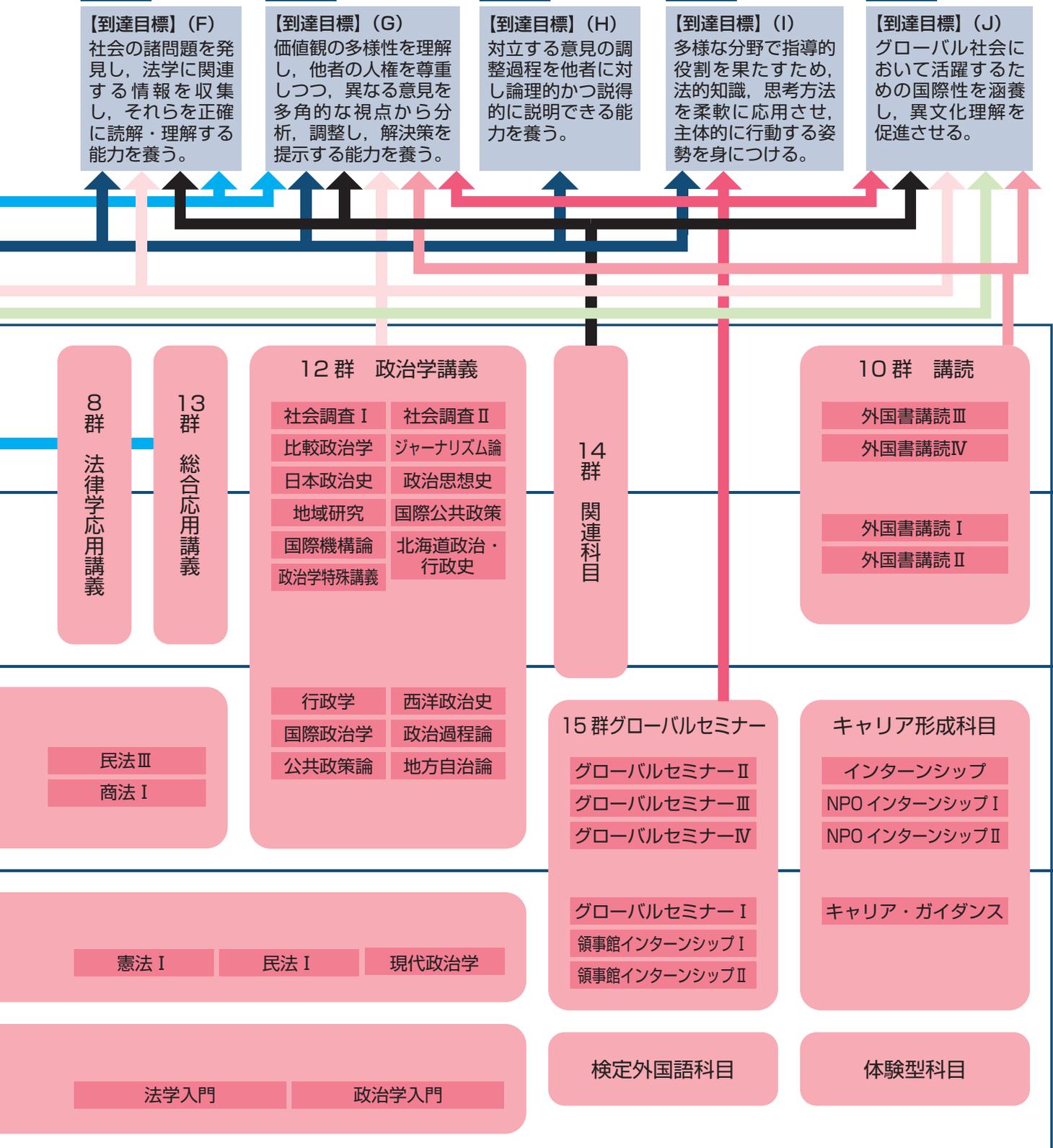
**【到達目標】(I)**

多様な分野で指導的役割を果たすため、法的知識、思考方法を柔軟に応用させ、主体的に行動する姿勢を身につける。

**DP4**

**【到達目標】(J)**

グローバル社会において活躍するための国際性を涵養し、異文化理解を促進させる。



# 法学部政治学科 カリキュラム・ツリー

## 【DP1】

現代の政治制度や構造はいかなる思想的・歴史的背景を持っているのか、現実に政治の過程はどのように動いているのかについて理解している。

## 【DP2】

自治体における行政や市民の直面する政策課題や法・条例の実態を知り、望ましい解決策について自分なりの考えを持ち、表現できる。

### DP4 DP1

#### 【到達目標】(A)

さまざまな学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得する。

### DP4 DP1

#### 【到達目標】(B)

一般的・普遍的な教養を育成する。

### DP1 DP2

#### 【到達目標】(C)

法律学・政治学を学ぶ意欲を涵養し、基礎的な知識やスキル、法的・政治学的思考力を修得する。

### DP1

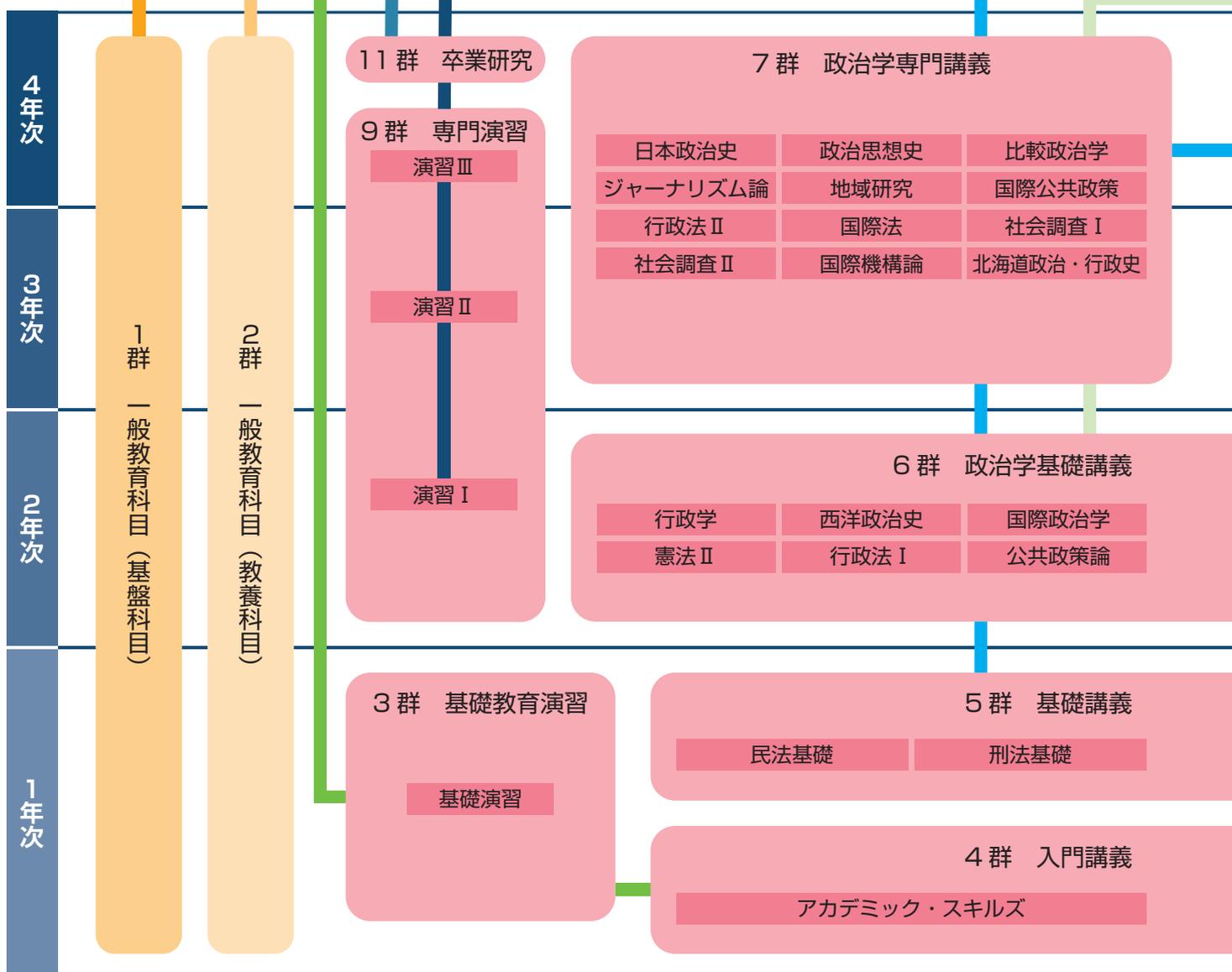
#### 【到達目標】(D)

政治学に関連する理論的知識及び国内外の政治の仕組みや現象を理解する。

### DP2 DP3

#### 【到達目標】(E)

政治学の各領域の専門的な知識に依拠した論理的・批判的思考力や公正な判断力を涵養する。



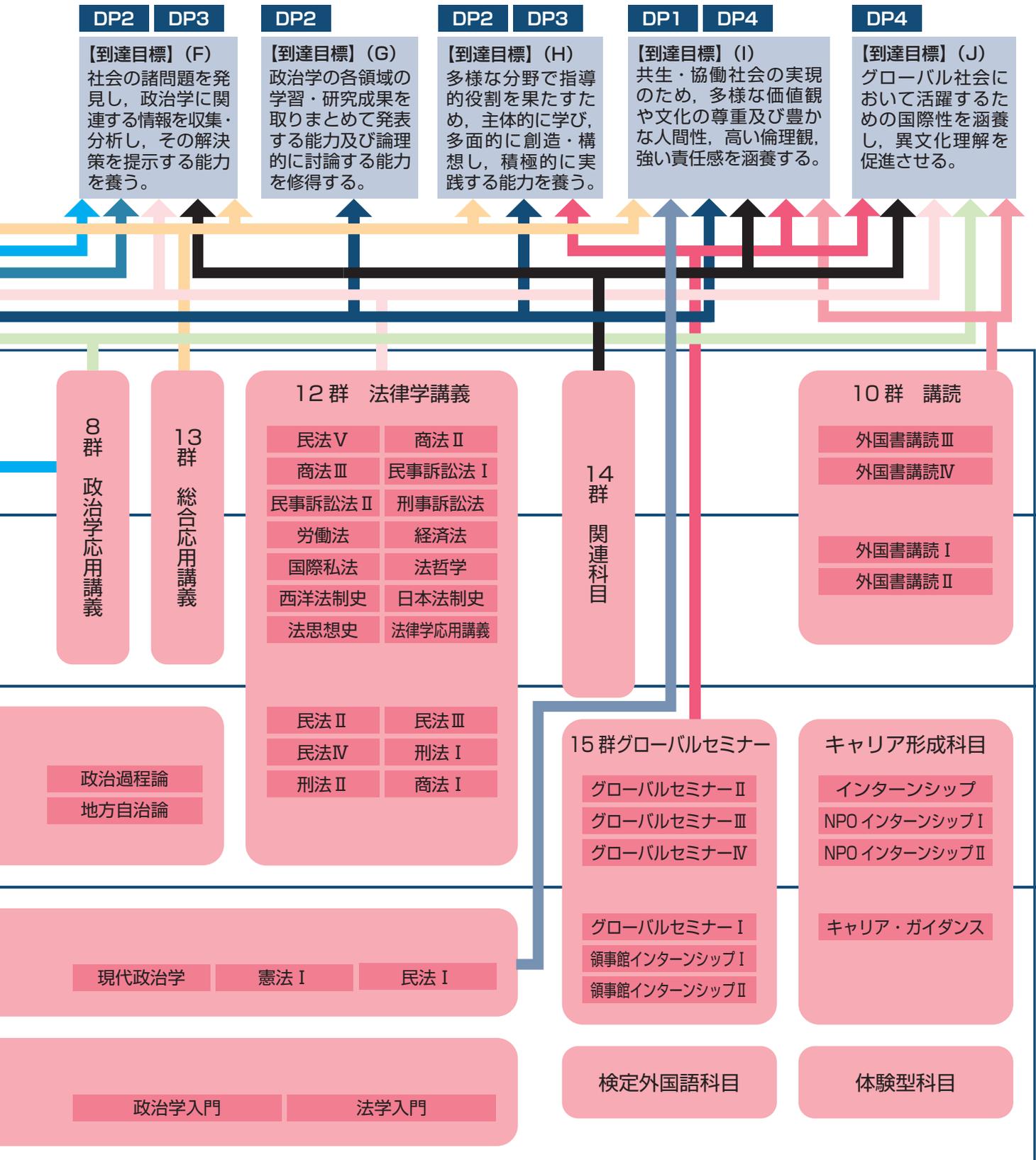
資料  
2020年度入学生適用

**[DP3]**

ジャーナリズムの原理と実態を知り、問題点を理解するための見方を身につけている。

**[DP4]**

グローバル化した社会における政治課題を解決するために必要な知識—他国の文化・歴史、国際機関の役割など—を身につけている。



# 法学部法律学科（1年次を含む）カリキュラム・マップ

## ■法学部法律学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の修業年限及び修得単位を満たした人に対して、以下の能力を有する人材であると認め、学士（法学）の学位を授与する。

- (1) わが国の法制度は日本国憲法を中心とした様々な法規範によって構成されているが、それらに基づいた法治国としての仕組みを理解している。
- (2) 法的判断をするための基礎となる法律の条文や規則などを正確に読解できる。
- (3) 価値観の異なる様々な見解を分析し、自らが選択した法的判断の妥当性を第三者に対して論理的に説明できる。
- (4) グローバル化した社会における法的問題を解決するために必要な知識—他国の文化・国民性・歴史などを身につけている。

## ■法学部法律学科の教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

法学部では、2年次学科選択制をとっています。つまり、1年次には、法律学科・政治学科のいずれにも所属せずに、法律学・政治学の基礎を学びます。その目的は、両者が密接に結びついていることにありますが、いずれがより自分の関心や目的に合っているのかをよく考えたうえで、1年次の終わりに希望を出し、2年次からいずれかの学科に所属していきます。

### 1) 教育内容・方法

#### 〈教養教育〉

1年次には、人文・社会・自然科学などの一般教育科目をじっくりと学びます。人々の価値観は非常に多様であるところ、人々の意見対立を調整し前進していくためには、多様で立体的な見方ができなければなりません。一般教育科目を学ぶことにより、そのような能力が身につきます。

#### 〈専門教育〉

- (1) 1年次には、自ら進んで勉強し、問題を発見できるようになるための基本的知識の修得を目的とした少人数制の基礎教育演習が開講されています。ここでは、活発に議論することを通じて、コミュニケーション能力も培われます。
- (2) 法律学科では、2年次以降、憲法・民法・刑法などの基礎講義を勉強し、そのうえで、より専門的な行政法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・労働法・経済法・国際法などの専門講義と、応用講義を学んでいくように構成されています。また、各自の専門領域についてテーマを特定し、より深く追究していくことを目的とした少人数制の専門演習が開講されています。
- (3) 関心を抱いたテーマにつき、さらに掘り下げて研究することを望む場合、一定要件を満たしていれば、4年次に卒業研究を履修することができます。

#### 〈キャリア教育〉

- (1) 1年次には、大学生活の早い段階から就職活動に関心を持ってもらうよう、キャリア・ガイダンスを開講しております。
- (2) 2年次には、民間企業や地方自治体の職場で就業体験をすることができるインターンシップや、NPO（非営利市民活動組織）や議員の活動現場を体験できるNPOインターンシップが開講されています。

#### 〈語学教育〉

- (1) グローバル化した社会で活躍できる人材を育成するために、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語の会話や文化に関する外国語科目を設置して、外国語力・コミュニケーション能力の向上を図っています。
- (2) 3年次以降では、専門書を外国語で読む外国語講義が開講されており、外国語科目の履修で身につけた

語学力を、専門的な文献の読解を通じて、さらにブラッシュアップすることができます。

- (3) 国際性の涵養・英語をはじめとする外国語運用能力向上のため、グローバルセミナーが開講されています。グローバルセミナーでは、ニセコでの英語国内語学研修、留学事前準備研修、協定に基づくカナダ・レスブリッジ大学への留学をすることができます。また、在札幌アメリカ領事館等でのインターンシップを行う、領事館インターンシップも開講されています。

## 2) 学修成果の評価

各科目の学修成果は、シラバスに記載された学習目標の到達度に応じて厳格に評価します。

〈到達目標〉		対応する学位授与方針 (左から主な順)
A	さまざまな学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得する。	(4) - (3)
B	一般的・普遍的な教養を育成する。	(4) - (3)
C	法律学・政治学を学ぶ意欲を涵養し、基礎的な知識やスキル、法的・政治学的思考力を修得する。	(1) - (2)
D	日本国憲法および制定法の概要と、これらの背後に存在する価値原理や基本原則を理解する。	(1)
E	法を運用する機関の役割と、その権限行使の際の手続の概要を理解する。	(1)
F	社会の諸問題を発見し、法学に関連する情報を収集し、それらを正確に読解・理解する能力を養う。	(2)
G	価値観の多様性を理解し、他者の人権を尊重しつつ、異なる意見を多角的な視点から分析、調整し、解決策を提示する能力を養う。	(3)
H	対立する意見の調整過程を他者に対し論理的かつ説得的に説明できる能力を養う。	(3)
I	多様な分野で指導的役割を果たすため、法的知識、思考方法を柔軟に応用させ、主体的に行動する姿勢を身に着ける。	(3)
J	グローバル社会において活躍するための国際性を涵養し、異文化理解を促進させる。	(4)







	授業科目名	単位	開講年次	到達目標										備考			
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J				
5群	基礎講義	民法基礎	2	1			○										
		刑法基礎	2	1			○										
		憲法Ⅰ	4	1				○	○	○	○						
		民法Ⅰ	4	1				○	○	○	○						
		現代政治学	4	1				○	○	○	○						
6群	法律学基礎講義	憲法Ⅱ	4	2				○	○	○	○						
		行政法Ⅰ	4	2				○	○	○	○						
		民法Ⅱ	4	2				○		○	○						
		民法Ⅲ	4	2				○		○	○						
		民法Ⅳ	4	2				○		○	○						
		刑法Ⅰ	4	2				○		○	○						
		刑法Ⅱ	4	2				○		○	○						
		商法Ⅰ	4	2				○		○	○						
7群	法律学専門講義	行政法Ⅱ	4	3・4				○	○	○	○						
		民法Ⅴ	4	3・4				○		○	○						
		商法Ⅱ	4	3・4				○		○	○						
		商法Ⅲ	4	3・4				○		○	○						
		労働法	4	3・4				○	○	○	○						
		経済法	4	3・4				○	○	○	○						
		国際法	4	3・4				○	○	○	○					○	
		国際私法	4	3・4				○	○	○	○					○	
		民事訴訟法Ⅰ	4	3・4				○	○	○	○						
		民事訴訟法Ⅱ	4	3・4				○	○	○	○						
		刑事訴訟法	4	3・4				○	○	○	○						
		法哲学	4	3・4				○		○	○					○	
		西洋法制史	4	3・4				○		○	○					○	
		日本法制史	4	3・4				○		○	○						
法思想史	2	3・4						○	○					○			
8群	法律学応用講義	法律学応用講義	2	3・4				○	○	○	○						
9群	専門演習	演習Ⅰ	4	2					○	○	○	○					
		演習Ⅱ	4	3					○	○	○	○					
		演習Ⅲ	4	4						○	○	○	○				
10群	講読	外国書講読Ⅰ	2	3						○						○	
		外国書講読Ⅱ	2	3						○						○	
		外国書講読Ⅲ	2	4							○					○	
		外国書講読Ⅳ	2	4							○					○	
11群	卒業研究	卒業研究	4	4					○	○	○	○	○				
12群	政治学講義	行政学	4	2					○	○	○						
		西洋政治史	4	2						○	○					○	
		国際政治学	4	2							○	○				○	
		政治過程論	4	2							○	○					
		公共政策論	4	2							○	○					
		地方自治論	4	2							○	○	○				
		社会調査Ⅰ	2	3・4							○						
		社会調査Ⅱ	2	3・4							○						
		比較政治学	4	3・4				○	○	○	○					○	
		ジャーナリズム論	4	3・4				○		○	○					○	
		日本政治史	4	3・4				○		○	○					○	
		政治思想史	4	3・4				○		○	○					○	
		地域研究	4	3・4				○		○	○					○	
		国際公共政策	4	3・4				○		○	○					○	
		国際機構論	2	3・4						○	○	○				○	
		北海道政治・行政史Ⅰ	2	3・4				○	○	○	○						
北海道政治・行政史Ⅱ	2	3・4				○	○	○	○								
政治学特殊講義	2	3・4				○	○	○	○					○			
13群	総合応用講義	総合応用講義	2	3・4				○	○	○	○						
		他大学修得科目(専門)	2	2				-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2020年度入学生適用  
資料

授業科目名	単位	開講年次	到達目標										備考														
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J															
14群	関連講義	社会経済学Ⅰ	2	2						○																	
		社会経済学Ⅱ	2	2						○																	
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2						○																	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2						○																	
		労働経済論Ⅰ	2	2						○																	
		労働経済論Ⅱ	2	2						○																	
		マクロ経済学Ⅰ	2	3・4						○																	
		マクロ経済学Ⅱ	2	3・4						○																	
		財政学Ⅰ	2	3・4						○																	
		財政学Ⅱ	2	3・4						○																	
		経済政策Ⅰ	2	3・4						○																	
		経済政策Ⅱ	2	3・4						○																	
		社会政策Ⅰ	2	3・4						○																	
		社会政策Ⅱ	2	3・4						○																	
		日本経済史Ⅰ	2	3・4						○																	
		日本経済史Ⅱ	2	3・4						○																	
		国際経済論Ⅰ	2	3・4						○														○			
		国際経済論Ⅱ	2	3・4						○														○			
		地方財政論Ⅰ	2	3・4						○																	
		地方財政論Ⅱ	2	3・4						○																	
		日本史	2	2						○																	
		西洋史	2	2						○	○													○			
東洋史	2	2						○	○													○					
文化人類学	2	3・4						○	○													○					
他大学修得科目(一般)	2	2	-	-																							
15群	グローバルセミナー	グローバルセミナーⅠ	2	1						○												○	○				
		グローバルセミナーⅡ	1	2						○													○	○			
		グローバルセミナーⅢ	14	2						○													○	○			
		グローバルセミナーⅣ	14-28	2						○													○	○			
		領事館インターンシップⅠ	1	1						○													○	○			
		領事館インターンシップⅡ	1	1						○													○	○			
キャリア形成科目	キャリア・ガイダンス	1	1																			○					
	インターンシップ	2	2							○	○	○															
	NPOインターンシップⅠ	1	2						○	○	○	○															
	NPOインターンシップⅡ	1	2						○	○	○	○															
検定外国語科目	検定外国語Ⅰ	1	1	○																							
	検定外国語Ⅱ	1	1	○																							
	検定外国語Ⅲ	1	1	○																							
	検定外国語Ⅳ	1	1	○																							
体験型科目	海外文化Ⅰ	1	1							○												○	○				
	海外文化Ⅱ	1	1							○												○	○				
	海外文化Ⅲ	1	1							○												○	○				
	海外文化Ⅳ	1	1							○												○	○				

# 法学部政治学科（1年次を含む）カリキュラム・マップ

## ■法学部政治学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の修業年限及び修得単位を満たした人に対して、以下の能力を有する人材であると認め、学士（法学）の学位を授与する。

- (1) 現代の政治制度や構造はいかなる思想的・歴史的背景を持っているのか、現実に政治の過程はどのように動いているのかについて理解している。
- (2) 自治体における行政や市民の直面する政策課題や法・条例の実態を知り、望ましい解決策について自分なりの考えを持ち、表現できる。
- (3) ジャーナリズムの原理と実態を知り、問題点を理解するための見方を身につけている。
- (4) グローバル化した社会における政治課題を解決するために必要な知識—他国の文化・歴史、国際機関の役割など—を身につけている。

## ■法学部政治学科の教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

法学部では、2年次学科選択制をとっています。つまり、1年次には、法律学科・政治学科のいずれにも所属せずに、法学・政治学の基礎を学びます。その目的は、両者が密接に結びついていることにありますが、いずれがより自分の関心や目的に合っているのかをよく考えたうえで、1年次の終わりに希望を出し、2年次からいずれかの学科に所属していきます。

### 1) 教育内容・方法

#### 〈教養教育〉

1年次には、人文・社会・自然科学などの一般教育科目をじっくりと学びます。人々の価値観は非常に多様であるところ、人々の意見対立を調整し前進していくためには、多様で立体的な見方ができなければなりません。一般教育科目を学ぶことにより、そのような能力が身につきます。

#### 〈専門教育〉

- (1) 1年次には、自ら進んで勉強し、問題を発見できるようになるための基本的知識の修得を目的とした少人数制の基礎教育演習が開講されています。ここでは、活発に議論することを通じて、コミュニケーション能力も培われます。
- (2) 政治学科では、2年次以降、西洋政治史・政治過程論・国際政治学などの基礎講義、日本政治史・政治思想史・国際公共政策・比較政治学などから構成されている専門講義によって、政治学の専門的・応用的知識を身につけていきます。さらに、地域研究などにより、国家中心主義を超えた近年の政治現象についての理解を深めます。また、各自の専門領域についてテーマを特定し、より深く追究していくことを目的とした少人数制の専門演習が開講されています。
- (3) 関心を抱いたテーマにつき、さらに掘り下げて研究することを望む場合、一定要件を満たしていれば、4年次に卒業研究を履修することができます。

#### 〈キャリア教育〉

- (1) 1年次には、大学生活の早い段階から就職活動に関心を持ってもらうよう、キャリア・ガイダンスを開講しております。
- (2) 2年次には、民間企業や地方自治体の職場で就業体験をすることができるインターンシップや、NPO（非営利市民活動組織）や議員の活動現場を体験できるNPOインターンシップが開講されています。

#### 〈語学教育〉

- (1) グローバル化した社会で活躍できる人材を育成するために、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語の会話や文化に関する外国語科目を設置して、外国語力・コミュニケーション能力の向上を図っています。
- (2) 3年次以降では、専門書を外国語で読む外国語講義が開講されており、外国語科目の履修で身につけた

語学力を、専門的な文献の読解を通じて、さらにブラッシュアップすることができます。

- (3) 国際性の涵養・英語をはじめとする外国語運用能力向上のため、グローバルセミナーが開講されています。グローバルセミナーでは、ニセコでの英語国内語学研修、留学事前準備研修、協定に基づくカナダ・レスブリッジ大学への留学をすることができます。また、在札幌アメリカ領事館等でのインターンシップを行う、領事館インターンシップも開講されています。

## 2) 学修成果の評価

各科目の学修成果は、シラバスに記載された学習目標の到達度に応じて厳格に評価します。

〈到達目標〉		対応する学位授与方針 (左から主な順)
A	さまざまな学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得する。	(4) - (1)
B	一般的・普遍的な教養を育成する。	(4) - (1)
C	法律学・政治学を学ぶ意欲を涵養し、基礎的な知識やスキル、法的・政治学的思考力を修得する。	(1) - (2)
D	政治学に関連する理論的知識及び国内外の政治の仕組みや現象を理解する。	(1)
E	政治学の各領域の専門的な知識に依拠した論理的・批判的思考力や公正な判断力を涵養する。	(2) - (3)
F	社会の諸問題を発見し、政治学に関連する情報を収集・分析し、その解決策を提示する能力を養う。	(2) - (3)
G	政治学の各領域の学習・研究成果を取りまとめて発表する能力及び論理的に討論する能力を修得する。	(2)
H	多様な分野で指導的役割を果たすため、主体的に学び、多面的に創造・構想し、積極的に実践する能力を養う。	(2) - (3)
I	共生・協働社会の実現のため、多様な価値観や文化の尊重及び豊かな人間性、高い倫理観、強い責任感を涵養する。	(1) - (4)
J	グローバル社会において活躍するための国際性を涵養し、異文化理解を促進させる。	(4)







	授業科目名	単位	開講年次	到達目標										備考			
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J				
5群	基礎講義	民法基礎	2	1				○									
		刑法基礎	2	1				○									
		現代政治学	4	1				○	○	○				○			
		憲法Ⅰ	4	1				○		○				○			
		民法Ⅰ	4	1				○		○				○			
6群	政治学基礎講義	行政学	4	2				○	○	○							
		西洋政治史	4	2				○	○	○						○	
		国際政治学	4	2				○	○	○						○	
		政治過程論	4	2				○	○	○							
		憲法Ⅱ	4	2				○	○	○							
		行政法Ⅰ	4	2				○	○	○							
		公共政策論	4	2				○	○	○							
		地方自治論	4	2				○	○	○							
7群	政治学専門講義	日本政治史	4	3・4				○	○	○							
		政治思想史	4	3・4				○	○	○						○	
		比較政治学	4	3・4				○	○	○						○	
		ジャーナリズム論	4	3・4				○	○	○						○	
		地域研究	4	3・4				○	○	○						○	
		国際公共政策	4	3・4				○	○	○						○	
		行政法Ⅱ	4	3・4				○	○	○							
		国際法	4	3・4				○	○	○						○	
		社会調査Ⅰ	2	3・4				○	○	○							
		社会調査Ⅱ	2	3・4				○	○	○							
		国際機構論	2	3・4				○	○	○						○	
		北海道政治・行政史Ⅰ	2	3・4				○	○	○							
		北海道政治・行政史Ⅱ	2	3・4				○	○	○							
8群	政治学応用講義	政治学特殊講義	2	3・4				○	○	○						○	
9群	専門演習	演習Ⅰ	4	2							○	○	○				
		演習Ⅱ	4	3								○	○	○			
		演習Ⅲ	4	4								○	○	○			
10群	講読	外国書講読Ⅰ	2	3										○	○		
		外国書講読Ⅱ	2	3										○	○		
		外国書講読Ⅲ	2	4										○	○		
		外国書講読Ⅳ	2	4										○	○		
11群	卒業研究	卒業研究	4	4				○	○	○							
12群	法律学講義	民法Ⅱ	4	2				○		○							
		民法Ⅲ	4	2				○		○							
		民法Ⅳ	4	2				○		○							
		民法Ⅴ	4	3・4				○		○							
		刑法Ⅰ	4	2				○		○							
		刑法Ⅱ	4	2				○		○							
		商法Ⅰ	4	2				○		○							
		商法Ⅱ	4	3・4				○		○							
		商法Ⅲ	4	3・4				○		○							
		民事訴訟法Ⅰ	4	3・4				○		○							
		民事訴訟法Ⅱ	4	3・4				○		○							
		刑事訴訟法	4	3・4				○		○							
		労働法	4	3・4				○		○							
		経済法	4	3・4				○		○							
		国際私法	4	3・4				○		○						○	
		法哲学	4	3・4				○		○						○	
		西洋法制史	4	3・4				○		○						○	
		日本法制史	4	3・4				○		○						○	
		法思想史	2	3・4				○		○						○	
法律学応用講義	2	3・4				○		○									
13群	総合応用講義	総合応用講義	2	3・4				○	○			○	○				
		他大学修得科目(専門)	2	2				-	-	-	-	-	-	-			

	授業科目名	単位	開講年次	到達目標										備考											
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J												
14群	関連講義	社会経済学Ⅰ	2	2						○															
		社会経済学Ⅱ	2	2						○															
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2						○															
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2						○															
		労働経済論Ⅰ	2	2						○															
		労働経済論Ⅱ	2	2						○															
		マクロ経済学Ⅰ	2	3・4						○															
		マクロ経済学Ⅱ	2	3・4						○															
		財政学Ⅰ	2	3・4						○															
		財政学Ⅱ	2	3・4						○															
		経済政策Ⅰ	2	3・4						○															
		経済政策Ⅱ	2	3・4						○															
		社会政策Ⅰ	2	3・4						○															
		社会政策Ⅱ	2	3・4						○															
		日本経済史Ⅰ	2	3・4						○															
		日本経済史Ⅱ	2	3・4						○															
		国際経済論Ⅰ	2	3・4						○													○		
		国際経済論Ⅱ	2	3・4						○													○		
		地方財政論Ⅰ	2	3・4						○															
		地方財政論Ⅱ	2	3・4						○															
		日本史	2	2						○															
西洋史	2	2						○													○	○			
東洋史	2	2						○													○	○			
文化人類学	2	3・4						○													○	○			
他大学修得科目(一般)	2	2	-	-																					
15群	グローバルセミナー	グローバルセミナーⅠ	2	1																		○	○	○	
		グローバルセミナーⅡ	1	2																			○	○	○
		グローバルセミナーⅢ	14	2																			○	○	○
		グローバルセミナーⅣ	14-28	2																			○	○	○
		領事館インターンシップⅠ	1	1																			○	○	○
		領事館インターンシップⅡ	1	1																			○	○	○
キャリア形成科目	キャリア・ガイダンス	1	1																			○			
	インターンシップ	2	2																			○	○		
	NPOインターンシップⅠ	1	2																			○	○		
	NPOインターンシップⅡ	1	2																			○	○		
検定外国語科目	検定外国語Ⅰ	1	1	○																					
	検定外国語Ⅱ	1	1	○																					
	検定外国語Ⅲ	1	1	○																					
	検定外国語Ⅳ	1	1	○																					
体験型科目	海外文化Ⅰ	1	1																			○	○	○	
	海外文化Ⅱ	1	1																			○	○	○	
	海外文化Ⅲ	1	1																			○	○	○	
	海外文化Ⅳ	1	1																			○	○	○	